



The 22nd Regular Concert

相模原マンドリン倶楽部

2006年10月21日(土) 14:00 開演

グリーンホール相模大野 大ホール



■ ご挨拶 ■

本日はご多忙中にもかかわらず、ご来場賜り誠にありがとうございます。
お蔭様で第22回定期演奏会を開催する運びとなりました。

さて、本年1月、日本マンドリン連盟関東支部主催による「ムジカ・マンドリーノ合奏コンクール東京」の本選が、80年ぶりに開催されましたが、当倶楽部はコンクールの趣旨に賛同・応募した結果、昨年の予選通過を経て、本選での入選を果たすことができました。

また、私共は月三回、合奏練習をしてきておりますが、調和がとれ呼吸が合った時の感激は忘れることができず、その感慨を求めて練習の日々を重ねてまいりました。

当倶楽部の演奏ジャンルはマンドリンオリジナルとクラシックアレンジを核としておりますが、今回も皆様に楽しんで頂けたら幸いです。

尚、本日指揮をする予定でありました小林淳子氏が、先月急逝されたため、宮本皓永が代わって指揮を務める事になりました。謹んで哀悼の意を表すると共に、ご報告申し上げます。

部長 柳生 秀人



■ 活動レポート ■

- | | | |
|-------|------------|-----------------------------------|
| 2005年 | 10月29日 (土) | 第21回定期演奏会 (グリーンホール相模大野) |
| | 12月10日 (土) | 納会 |
| 2006年 | 1月15日 (日) | 日本マンドリン連盟主催合奏コンクール本選出場 (タワーホール船堀) |
| | 3月 4日 (土) | 第18回大野中公民館まつり参加 (相模原市立大野中公民館) |
| | 4月16日 (日) | 第25回神奈川マンドリンフェスティバル参加 (横浜市栄公会堂) |
| | 5月13日 (土) | 遠山正瑛翁生誕100年顕彰碑建立落成式演奏 (富士吉田市 大正寺) |
| | 5月27日 (土) | 2006年度定期総会 (相模原市立総合学習センター) |
| | 6月 2日 (金) | 大野中公民館ふれあい学級開級式演奏 (相模原市立大野中公民館) |
| | 9月16日 (土) | 合宿 (ウェルサンピア多摩) |
| | ~17日 (日) | |
| | 10月15日 (日) | 強化練習 (相模原市立産業会館) |
| | 10月21日 (土) | 第22回定期演奏会 (グリーンホール相模大野) |

《詳細はホームページ参照》

■ 演奏曲目 ■



第1部

指揮：大矢 利夫

歌劇「アイーダ」より 大行進曲

作曲 G. ヴェルディ
編曲 喜多満鳥

歌劇「マドンナの宝石」より 第一間奏曲

作曲 E. W. フェラーリ
編曲 たかしま あきら/
喜多満鳥

海の組曲

作曲 A. アマディ

- I ニンフ達のセレナーデ
- II 波の精の踊り
- III シレーナの歌
- IV トリトーネのフーガ

歌劇「ジョコンダ」より 時の踊り

作曲 A. ポンキェルリ
編曲 V. ビルリ

—— 休憩 15分 ——

第2部

指揮：宮本 皓永

星の庭

作曲 小林 由直

喜歌劇「葡萄畑の恋」より

作曲 G. De ミケーリ
編曲 松本譲/石村隆行

- I 前奏曲と葡萄摘み達の合唱
- II 女房達の6重唱
- III 希望のロマンツァ（聖なる夜）・情熱の2重唱
- IV 郷愁のロマンス

トレピック プレリユード

作曲 藤掛廣幸



■ 曲目紹介 ■

歌劇「アイーダ」より大行進曲

G. ヴェルディ

ヴェルディは1813年イタリアに生まれ、生涯に26の歌劇を残しましたが、その全てが堅固な構成とイタリア独特の美しいメロディに彩られており、イタリア浪漫派歌劇を最高峰に至らしめただけでなく、以降の作曲家に多大な影響を与えました。

歌劇「アイーダ」は、1869年に完成したスエズ運河開通記念に立てられたカイロ歌劇場からの委嘱により作曲、1871年末に初演されたもので、古代の北アフリカの強国エジプトとエチオピアの戦争を舞台に、エジプトの衛兵隊長ラダメスとエチオピアの王女アイーダの悲恋を描いています。

本大行進曲は歌劇の第2幕第2場で演奏される「凱旋の合唱」「凱進行進曲」「勝利の合唱」をまとめたものです。「凱進行進曲」は、最近ではサッカーの応援歌としても知られています。

歌劇「マドンナの宝石」より第一間奏曲

E. W. フェラーリ

フェラーリは1876年イタリアに生まれ、ドイツの作曲法とイタリア風旋律とを巧妙に結合した歌劇作曲家ですが、いまでは歌劇として上演されることは少なく、この間奏曲や歌劇「スザンナの秘密」の前奏曲が、その美しい旋律が故に、単独で演奏されることの方が多くなりました。

「マドンナの宝石」はイタリア・ナポリを舞台に、「マドンナの宝石」を狙う鍛冶屋のジェナロ、その義妹のマリエラ、秘密結社の首領ラファエレ、3人の愛の葛藤を描いた3幕の歌劇で、各幕間に間奏曲がありますが、「第一間奏曲」は、ラファエレに惹かれるマリエラの心を表したものです。

海の組曲

A. アマディ

アマディは1866年イタリア生まれの作曲家で、管弦楽指揮者でもありました。作品は、管弦楽曲、吹奏楽曲、マンドリン合奏曲、合唱曲など多岐にわたり、約500曲あります。

「海の組曲」は、1909年「イル・プレットロ」誌主催の第2回作曲コンクールで一位に入賞したマンドリン合奏曲で、彼の代表作になっています。

この作品は地中海伝説から4つの妖精を表題にとり、海のロマンを巧みに描いたもので、楽譜には以下のような注釈が書かれています。

- No.1「ニンフ達のセレナーデ」； 海の秘、海的美をその手に掌握するナイアーデ（ニンフ、妖艶なる水神）達は、海上の彼方此方に馳せ回っている。夜の海は静かである。
- No.2「波の精の踊り」； オンディーナ（浪の精）達は踊る。妖艶なその舞は魅惑と夢幻に満ちている。
- No.3「シレーナの歌」； 美しきシレーナ（シチリア島に住み、その美声をはって船人を迷わせた半人半魚）の歌は、海行く人を迷わせる。身にふりかかる危うさも覚えず、彼らは安らかな眠りをむさぼっている。
- No.4「トリトーネのフーガ」； 船は涛にもまれ、今や危機に瀕している。貝笛を吹きならして怒涛をしずめつつ、トリトーネ（半人半魚の男神）達は、その救いのため相呼び馳せ乱れている。

歌劇「ジョコンダ」より時の踊り

A. ボンキェルリ

ボンキェルリは1834年イタリアに生まれ、歌劇「ジョコンダ」の作曲により一躍有名となり、一時はヴェルディの後継者といわれましたが、今や彼の多くの作品は忘れ去られ、代表作「ジョコンダ」も、その中で演奏される「時の踊り」だけが管弦楽の名曲として大変よく知られています。

この歌劇は1876年初演され、水の都イタリア・ヴェネチアを舞台に、美しい歌姫ジョコンダの悲恋を描いたもので、「時の踊り」は第3幕第2場、仮面舞踏会の場面で使われ、夜明けから真夜中までの時間の移り変わりを、「夜明けの時」「昼の時の入場」「昼の時の踊り」「夕方の時の入場」「夜の時の入場」「終曲」に分けて描いています。

星の庭

小林 由直

小林氏は1961年三重県に生まれ、ピアノは4歳から、本格的作曲は四日市高校在学中より始められました。その後、田中照道氏（作曲）と針谷宏弥氏（ピアノ）に師事された氏の、経歴は次の通りです。

1984年「北の地平線」日本マンドリン連盟主催第4回作曲コンクール第2位入賞。

2004年「カンタービレ」同、第19回マンドリン独奏コンクール課題曲に選定される。

2005年「Introduction and Allegro」第1回大阪国際マンドリンコンクール課題曲として委嘱れ、「マンドリン独奏のためのソナタ」「瀬音」とともにJoachim-Trekel-Musikverlag（ドイツ、ハンブルグ）より出版される。

2006年「マンドリン協奏曲第2番」音楽祭Eurofestival Zupfmusik Bamberg（ドイツ、ハンブルグ）のオープニングコンサートで初演され、好評を博す。

医学博士である氏は、現在、内科医として勤務の傍ら、マンドリン合奏曲、室内楽曲、合唱曲などの作曲と指導をされています。

本曲は、1985年11月わずか5日間で一気に書き上げられ、翌12月母校山口大学マンドリンクラブにより初演されました。「学生時代、夜も更けて友達の下宿から帰る時に見たあの美しい星空と、若くして逝った星空が大好きだった友人にこの曲を捧げたい」と作曲者は仰っています。

喜歌劇「葡萄畑の恋」

G. De ミケーリ

ミケーリは1889年イタリア北部のリグリア州ラ・スペツィアに生まれました。5歳の頃からヴァイオリンを学んだ彼は、26歳の時ブリュッセルの音楽学校に入学、ヴァイオリンのヴィルトーソとして大賞を得た後に、チューリッヒ音楽院で作曲を学びました。その後1927年イタリアに帰国、作曲、音楽評論などに活躍する一方、ヴァイオリニストとしてもヨーロッパ各地からエジプトまで演奏旅行を行い、各地で成功を収めました。

晩年は、ベルガモ近郊のコヴォに移り住み1940年没しましたが、コヴォの人々は、彼を偲んで街の通りに彼の名を冠し、また彼の墓碑には「いつも涸れる事のない美しい調べの創造者、マエストロ・ミケーリこの家に眠る。生誕地ラ・スペツィアの誇り、彼が眠るコヴォの誇り」と刻みしました。

彼の作品は160曲に上り、全盛期には彼の作品をレパートリーに加えないオーケストラはなかったと言われる程で、本日演奏する3幕の喜歌劇「葡萄畑の恋」は何度もラジオで放送されたそうです。

1926年に発表されたこの曲は、葡萄摘みと少女達の恋物語を描いており、全編が“旋律の宝箱”のようです。本日はその中から松本譲氏と石村隆行氏の編曲による4曲を演奏します。

「トレピック プレリユード」

藤掛 廣幸

藤掛氏は1948年岐阜県に生まれ、現代日本の代表的作曲家の一人として、初心者でも楽しめる平易なマンドリン合奏曲から、各種コンクールの課題曲をはじめ、ミュージカルや電子音楽、実験的作品に至るまで、広範囲な分野の作品を数多く創出されています。

1977年、世界三大音楽コンクールのひとつであるベルギーの「エリザベト王妃国際音楽コンクール」において、日本人初の作曲部門グランプリを受賞されたことに始まり、近年では著名なイ・ムジチ合奏団の委嘱による「日本の四季」や、世界的フルーティストJ.ゴールウェイとの共演による2枚のデュオアルバム、東海テレビ制作の「ふるさと紀行」、α派ミュージックの「海の子守歌」など多くのCDを録音されるなど、日本作曲家協会会員、日本マンドリン連盟副会長として幅広く活動されています。

本曲は1990年夏、NHKホールで行われたジュネスミュージカル・マンドリンオーケストラ・コンサートの為に作曲、初演されました。タイトルの「Tre-Pick」はトレモロ及びピッキングというマンドリンオーケストラ独特の奏法を活かすという意図を明確にする為に作曲者によって考えられた造語です。

曲の最後には、演奏しながら歌を歌い、声と楽器の音を融合させて、より豊かな音色を生み出すように工夫されています。

■ メンバー紹介 ■

Conductor 大矢 利夫 宮本 皓永

◎トップ
○サブトップ
☆賛助出演

1st Mandolin	2nd Mandolin	Mandola Tenore	Mandolon Cello	Guitar
◎窪田 成子 ○山崎 了三 綾部 文子 石本 友子 梅澤 典子 川崎 紘子 中井 顕成 仁尾 真里 濱地すぎの 舟田 徳穂 木田 絹子	◎池田百合子 ○渡辺 礼子 藍澤 桃子 饗庭 裕子 大野 薫 大場 路子 金澤 葉子 金山 新治 桑田久美子 中重亜由美 長澤 直子 野沢 孝広 樋口 三朗 樋口 忠雄 藤枝 春代 本田 博子 吉野 昌重	◎福谷 隆治 ○戸田 節子 大熊 友子 大矢 利夫 笛木 和美 古田 栄治 峯田 福代 宮下 和子 森 順子	◎井上 昌子 ○寺田美千代 飯田 正男 市川久美子 小山田正学 錦戸 民子	◎原田 治 ○長沢 久美 池上 由子 加登 文子 田中 厚子 手塚 利行 中西 茂樹 新田美佐子 宮本 紀子 柳生 秀人 吉田真紀子 和田真紀子
Harp		Percussion	Mandolone	Contra Bass
☆信国 恵子		☆百瀬 充恵 ☆小川 裕佳	宮本 皓永	◎錦戸 雅子 ○鈴木 保彦 ☆佐藤 文俊

司 会
ステージ・マネージャー

☆矢崎ひとみ
☆坂井 和彦
野沢 孝広
小山田正学

部 長 : 柳生 秀人 マネージャー : 梅澤 典子 : 錦戸 民子 : 笛木 和美 : 藤枝 春代	技術委員長 : 福谷 隆治 技術副委員長 : 窪田 成子
--	---------------------------------

小林淳子さんを偲んで



当倶楽部の大黒柱で育ての母として、全部員から敬愛された小林淳子さんが去る9月20日に逝去されました。享年51歳でした。故人は、感性豊かで五感鋭く、繊細さと大胆さを持ち合わせ、ウィット・ユーモアに富み、ダイナミックで流麗な指揮振りは弾き手を魅了し虜にしたばかりでなく、会場のお客さまから多くの共感をいただき、素晴らしい音の空間を醸し出しました。また、自ら「草の根運動」と称し、地道に粘り強く繰り返された練習は、故人の笑顔とともにいつまでも私達の心の奥深く消えることなく刻まれることでしょう。

福谷 隆治

略歴：指揮・演奏暦 33年。1987年当倶楽部に入部。第9回定演(1991.2.)を皮切りに第21回定演(2005.10)まで連続して指揮者を務める。マンドラ奏者として、「アマチュア室内楽フェスティバル」に3回出場、さらに、ヤマハ主催のコンクール「ハロークラシック」で250組の中から15組の本選に出場し、「砂川しげひさ賞」を受賞するなど多方面で活躍した。

次回 第23回定期演奏会のご案内
 日 時 2007年10月28日(日) 14:00
 場 所 グリーンホール相模大野 大ホール

相模原マンドリン倶楽部 連絡先 柳生 秀人

ホームページ <http://www.geocities.jp/sagamiharamc/>